

## 事後評価報告書

### 1. 基本情報

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| (1) 実行団体名     | 一般社団法人ドットリバー          |
| (2) 実行団体事業名   | つなぐ、つながる復興へのおもい       |
| (3) 資金分配団体名   | 一般社団法人 RCF            |
| (4) 資金分配団体事業名 |                       |
| (5) 事業の種類     | 災害支援事業                |
| (6) 実施期間      | 2021年4月から2023年3月31日まで |
| (7) 事業対象地域    | 熊本県人吉球磨地域             |

### 2. 事業概要

#### ①事業によって解決を目指す社会課題と想定される直接対象グループ

熊本県人吉市は、2020年7月に発生した豪雨災害による球磨川の氾濫により多くの住宅、商工事業者が被災した。国宝青井阿蘇神社をはじめとする観光拠点や、飲食店、宿泊施設、人吉温泉、鉄道、球磨川くだり、ラフティングなど、観光資源の多くが壊滅的な被害を受けた。水害前からの取り組みとして人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」を活用して、様々な企業や大学と交流・マッチングを促進し、事業承継問題をはじめとする事業者が抱える課題の解決、新事業展開へのサポート、テレワークなど新しい働き方の受け入れ拠点として運営を続けてきた。豪雨災害の被害や新型コロナウイルス感染症により、主要産業である観光業の再建までにしばらく時間がかかる今、テレワークやワーケーションの誘致によって地域に関わる関係人口・交流人口づくりを通して被災飲食店や宿泊施設関係者との連携による、復興に向けた取り組みを生み出す。

#### ②事業の概要（中長期アウトカム・短期アウトカム・活動）

##### 【中長期アウトカム】

これまでになかったワーケーション等での来外者も定期的に地域に訪れ、「観光×ワーケーション」の掛け算が、人吉市に新たな地域ブランドを生み出し、被災前よりも賑わい溢れる活性化した地域となっている。また、人吉市内の地域内事業者・行政・その他事業関連団体が連携し、地域一体となってネットワークを構築することで人吉球磨地域において、新たな観光の枠組みが生まれている状態となること。ワーケーションで年間300人が訪れる地域になっている。

##### 【短期アウトカム】

ワーケーションに対応できるケータリングやこれまでにない宿泊事業者との連携など新たなチャレンジを進めることで、被災事業者の意識も変化しサービスの幅も広がっている。

### ③出口戦略

宿泊事業者と連携したワーケーションプランがいくつかできており、人吉市としてのワーケーションのモデル事例になっている

## 3. 事後評価実施概要

### (1) 実施概要

#### ①どんな変化をこの事業の重要なポイントとして設定し評価を実施したのか

人吉にどんな特徴の人が、どんな理由で訪れているのか。これまで蓄積した来訪者の情報のカテゴリ分けをすることでどんな分野の人が、どこに訪れる傾向があるのか、呼び込みを掛けた人がなぜ来てくれたのかを知る。その中で、どんなきっかけで人吉を保横紋したのか、どんな目的を持っていたのか、誰と何をしたのか、その結果地域にどんな影響があったかをポイントとして設定し評価を実施した。

#### ②どんな調査で測定したのか

##### 1) 調査方法

・アンケートヒアリング調査

##### 2) アンケート調査実施時期

・2023年1月9日～2023年3月30日

##### 3) 調査対象者

地域内連携事業者①立山商店 ②遠藤さん ③嶽本さん ④観光協会 豊永さん

⑤人吉市役所 根本さん ⑥移住者 稲橋さん ⑦参加者 澤田さん

#### ③調査結果をどのように深掘りし価値判断をしたのか

これまで休眠預金事業を活用してワーケーションの受け入れをさせていただく中で、地域内で同じ目的を持って連携し事業を行ってきた地域内連携事業者へ直接会いに行き、事業の振り返りをしながら対面でヒアリングを行った。

### (2) 実施体制（内部/外部、評価担当役割、氏名、団体・役職）

内部体制)

一般社団法人ドットリバー 富山孝治(代表理事)

一般社団法人ドットリバー 祇園下千裕(コミュニティマネージャー)

一般社団法人ドットリバー 西希(コミュニティマネージャー)

## 4. 事業の実績

### 4-1 インプット（主要なものを記載）

#### (1) 人材（主に活動していたメンバーの人数や役割など）

主に、弊社スタッフ 2 名がワーケーションの集客、プラン設定、地域内事業者との調整や実際の受け入れ期間のアテンドなどを行い、ワーケーションコンシェルジュとしての役割を果たした。その他、スポットにてワーケーション受け入れ拠点におけるアウトドア設営や地域内アテンドのサポート等においてスタッフを複数人配置した。

#### (2) 資機材（主要なもの）

本事業において大きな資機材は必要なく、ワーケーションを受け入れるための拠点となる場所が必要であった。本事業がスタートする前から拠点としていた人吉市まち・ひと・しごと総合交流館くまりばを引き続き利活用し、安心して働くことのできる環境を整えるために

#### (3) 経費実績 助成金の合計（円）

- 1 契約当初の計画金額 13,876,000 円
- 2 実際に投入した金額 12,467,224 円

### 4-2 活動とアウトプットの実績

#### (1) 主な活動

人吉市において、これまでになかったワーケーションでの来外者も定期的に地域に訪れ、「観光×ワーケーション」の掛け算が、人吉市に新たな地域ブランドを生み出し、被災前よりも賑わい溢れる活性化した地域となることを目指し、本事業にて様々な活動をおこなった。コロナ禍において全国的にもテレワークやコワーキング、ワーケーションが流行りとなっていたため、人吉市ならではの独自性を創り上げていく必要があった。当初は、受け入れにおいて観光コンテンツを詰め込んだプランをお客様に提供していたが、実際に利用したお客様の声聞くと、仕事ができなかった。身体が疲れた。会社としてもワーケーションに出しにくい。そのような声が多く上がってきた為、地方であっても安心して働くことのできる環境づくり、自然に囲まれて非日常の中でイキイキ・ワクワクと社員が働く。弊社のコワーキングスペースとコラボしているアウトドアブランド SnowPeak の提唱する「人間らしく働く」ことを実感するプランづくりを始めた。拠点となるくまりばにおいても、安心して働くための備品等を一部購入させていただいた。そして、地域内事業者ともこれまでの観光体験ではない、ワーケーション利用者用の体験メニュー作りを一緒に行ってきた。コワーキングスペースの利用者数も月間で 300 名を突破し、これまでは紙媒体やエクセルにて管理していた顧客リストも会員管理システムを導入することで、これまで以上に管理することができるようになっただけでなく、その情報を元にワーケーションの集客に向けた地域情報なども的確にターゲットを絞ってアプローチするなど、運用することも可能となった。より利用者がイメージを持ちやすいよう写真撮影や動画制作も行い、ワ

ーケーション専用のホームページも構築し、SNS のみならず様々な媒体にて発信することで、より多くの方に熊本県人吉市でワーケーションができるということを認識づけすることもできた。現在では、ホームページの問い合わせフォームからワーケーションの依頼や問い合わせなども来るようになってきている。

## (2) アウトプットの実績

### 【アウトプットに関する記載項目】

- 1 アウトプット
- 2 指標
- 3 初期値
- 4 目標値
- 5 目標達成時期（事業計画書に記載した時期）
- 6 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	実績値
宿泊事業者と連携したワーケーションプランがいくつかできており、人吉市としてのワーケーションのモデル事例になっていること	モデルプラン	10件	2023年3月	宿泊事業者とは連携して、ワーケーション利用者を様々なプランでお客様の受け入れを行っている。	10件
	連携宿泊事業者	10件			
ワーケーションを軸とした新しい観光コンテンツができ、訪問客が訪れている状態	訪問客数（モデルツアー）	50人	2023年3月	本事業を通してこれまで延べ55社116名のお客様にワーケーションで来訪いただいた	116人
地域内の事業者が、ワーケーションプランを通じて協力ができている状態	事業者数	49事業者	2023年3月	飲食店事業者や宿泊事業者と連携し、引き続きワーケーション受け入れに向けた意識の醸成を続けている	49事業者
ワーケーションの実施を通じて事業者から相談等を持ちかけられる関係性ができ、相談を受けた際に行政等に連携し、再建に向けた後押しができる状態	相談件数	20件	2023年3月	飲食店事業者や宿泊事業者からの直接相談も受けており、人吉市や観光協会とも連携してヒアリングを実施するなど再建に向けた後押しを実施している。	20件

#### 4-3外部との連携の実績

ワーケーション拠点となる人吉市まち・ひと・しごと総合交流館くまればは、運営は弊社にて一部委託を受けているもの人吉市が管理しており、人吉市が掲げる関係人口創出を目的として本事業開始前から連携をしている。今回もワーケーション誘致に向けて、行政と連携した。企業によっては、行政関係者へヒアリングを行いたいと希望を持たれる事業者などもあり担当課との調整なども実施している。

一般社団法人人吉温泉観光協会は、人吉市内の様々な観光事業者、飲食・宿泊事業者の情報を持っており、ワーケーション受け入れにおける体験コンテンツの提供や地域内情報の共有などを行った。災害後の被災状況をお伝えする防災学習プランも観光協会として修学旅行生や研修として実施されており、ワーケーション参加者にも実施している。

### 5. アウトカムの分析

#### 1. 5-1. アウトカムの達成度

##### 1. (1) 短期アウトカムの計画と実績

###### 【短期アウトカムに関する記載項目】

- 1 短期アウトカム
- 2 指標
- 3 初期値／初期状態
- 4 目標値／目標状態
- 5 目標達成時期
- 6 アウトカム発現状況（実績）
- 7 事前評価時の短期アウトカム（変更した場合は元の短期アウトカムを記載してください）

・くまればを拠点とするワーケーションを軸として、地域外から観光目的以外の来外者を地域内に呼び込み、新たなコンテンツを作り上げる。

・地域内に存在する観光コンテンツなどに改めてスポットを当て、磨き上げる。

・地域内事業者と新しい観光コンテンツを作り出し、ワーケーション参加者に実践してもらうなど、ワーケーションプランを通して協力、連携できる関係を構築する。

これまで関係人口創出の拠点となっていたくまればに更に利用者が訪れ、地域の方との交流が増加し、ワーケーションを軸とした新たなコンテンツを通して被災した観光事業者と新たに協力連携ができ、観光＋ワーケーションでの来外者受け入れの体制が整っている状態。地域内にワーケーションや働くをテーマに訪問する人が増加し、その人たちが地域内に関わることで何か面白いことが起きるかもしれないと地域内の方々にも興味を持っていただける状態。情報発信ツールは整い、人吉の情報を走らせていくことができる状態。

##### 2. (2) アウトカム達成度についての評価

本事業がスタートする前に想定していたよりもワーケーションにて地域外から色んなお客

さんが人吉市を訪問し、これまで通りの観光のみならずくまりばを拠点とした仕事をしながら地域を感じる滞在をしていただいた。観光では、観光地に行くことがメインとなるが、人吉型ワーケーションでは、飲食・宿泊・体験コンテンツなどその先々で人吉市民の「人」との交流が必須となるプラン構成となっており、これまで人吉市を訪問していた観光客とは全く違う感覚で滞在いただくことができた。

#### 1. 5-2. 波及効果（想定外、波及的・副次的効果）

とある企業が人吉市にワーケーション滞在された際に、焼酎の蔵元で試飲や蔵見学などを体験させていただいた。その数ヶ月後に球磨焼酎全銘柄をデザインしたスマホカバーが商品化されるという事例があった。ワーケーション参加者と地域内事業者のコラボ商品が生み出されることは、想定外のことであった。また、地域内飲食事業者は地元のお客さんに向けて地元特産物よりも地域外の商品を提供することのほうが喜ばれるため（例：北海道産～など）これまであまりメニューとして出していなかった。ワーケーションとして外からくるお客さん向けにメニューを開発したところ、思いのほか地域内のお客様の反応が良かったため、そのまま新メニューとして提供されている。

#### 2. 5-3. 事業の効率性 ※補足資料参照

本事業では、元々は広告費などワーケーション告知において施設利用を促すことを中心に予算を組んでいたが、事業を推進する中で、熊本県やあさぎりまちなど同時期に受け入れることができた。人吉市のみならず、文化・経済圏が同一である人吉球磨地域という広域のフィールドで事業を進めることができたことで効率よく地域の魅力を対外的に周知することが可能となった。

### 6. 成功要因・課題

ワーケーションを受け入れるにあたり、くまりばという拠点がすでに存在し、ネット環境やワークスペースなど安心して働く環境がある程度は整っていたことで、来訪者は安心して滞在することができた。受け入れにあたり、これまでドットリバーとして取り組んできた地域外の方と中の人を繋ぐことの延長として、関係人口創出に取り組むことができたことは、地域内連携の取り組みもとてもスムーズに構築することができた。ワーケーションという言葉の捉えられ方が様々であり、バケーション要素が強いイメージを持っている企業に向けて人吉独自のワーケーションは、仕事中心の仕事にとってプラスになるという内容をしっかり伝えていくことが大切である。ワーケーションという流行はどこかで終わりを迎える可能性がある。事業開始時期はコロナにより移動自粛なども重なったため、初年度は思うような成果が残せなかった。平時での本事業を運用した場合にどうなったのかは、検証してみたいところ。内部的には、オンラインミーティングに切り替えるなどして問題なく事業を進めることはできた。人を外から呼び込むという視点で言うと、もっと呼べたかもしれない。

## 7. その他深掘り検証項目

地域の魅力の再発見。人の再発見をすることができた。ワーケーションで外からのお客様に満足いただくプランを作るにあたり、地域内事業者と連携して様々な意見交換を繰り返してきた。地域に住んでいながらにして、知らなかった様々な地域の魅力や人を知ることができ、人吉でのワーケーションに滞在した方からも、人吉の「人」にもう一度会いに帰ってきたいと言う声をたくさんいただいたことから「人」に光を当てて、発信していく大切さを再認識した。人吉球磨ワーケーションという本事業で構築させていただいたホームページにも「人物図鑑」というページを作り、地域に住む人の紹介、想い、人吉の好きなところ、ワーケーション利用者へのメッセージなど深掘りして事業を進めることができた。

## 8. 結論

本事業のスタート時、豪雨災害からの復興に向かう中、新型コロナウイルス感染症の流行により、飲食店や旅館ホテルなどをはじめとする観光事業者は、復旧復興の過程で予想外の事態に直面していた。当時は不要不急の外出の制限がかかり、観光産業は大打撃をうけ人吉市においても災害から復旧した事業者もなかなか集客に苦戦していた。コロナ禍において、主要産業である観光業の再建までにしばらく時間がかかる中、テレワークやワーケーションの誘致によって地域に関わる関係人口・交流人口づくりを通して被災飲食店や宿泊施設関係者との連携による、復興に向けた取り組みを生み出すことを目的として本事業を行ってきた。事業を進めるにあたり、100名以上の利用者を人吉市へ誘客することもでき、地域内でも様々な連携をすることができた。災害からも2年以上が経過し、事業者は営業再開を果たし、コロナも落ち着き観光客も戻り、まちは本来の姿を少しずつ取り戻してきている。ワーケーションという災害前、コロナ前までは存在していなかった新しいコンテンツで人吉市に人を呼び込み、中には移住する人間まで出てきている。引き続き、関係人口創出を加速させていき、これから更にワーケーションを軸とした新たなコンテンツ作りの取り組みを進めていく中で、お客さんのニーズにも答えつつも、まだまだ100%再開を果たせていない地域内被災事業者の状況を細かく捉えつつ連携の糸口を見つけていく必要があると考えられる。情報が入ってきやすい人吉市や観光協会や商工会議所などとも連携して、ドットリバーの強みである人の繋がりやネットワークをうまく活用しながら本事業終了後も、自走できる持続可能な地域づくりに尽力して行きたい。

## 8-1 事業実施のプロセスおよび事業成果の達成度の自己評価

	多くの改善の 余地がある	想定した水準 までに少し改 善点がある	想定した水準 にあるが一部 改善点がある	想定した水準 にある	想定した水準 以上にある
(1) 事業実 施プロセス				○	
(2) 事業成 果の達成度					○

(1)、(2) それぞれ1箇所を選択する。

## 9. 提言

ワーケーションという言葉の捉えられ方が様々であり、バケーション要素が強いイメージを持っている企業に向けて人吉独自のワーケーションは、仕事中心の仕事にとってプラスになるという内容をしっかり伝えていくことが大切である。ワーケーションという流行はどこかで終わりを迎える可能性があるため、人吉ならではの人吉でしか体験できない、人吉に来るとなんだか会社のスタッフやチームがレベルアップして帰っていくことができる。また来年も研修として人吉に行きたい。そう感じていただけるだけのコンテンツを確立させていく必要がある。また、全国の自治体がワーケーション地域として取り組む中で熊本県人吉市でワーケーションができるということを知らない方がまだまだ多くいらっしゃる。なので広報的に、または戦略的に営業活動を行っていくことが大切である。最近では、本事業を通じて構築したワーケーション専用のホームページから人吉でワーケーションをしたいという問い合わせを数件いただいているが、このような広報活動を更に実施していかなければならない。ターゲットは法人向けとしているが、身軽に動きやすいフリーランスや個人事業主の受け入れもしつつ、そこから口コミや利用者の SNS 等で更に法人に属している個人へ何らかの形で情報を届けることが、持続的に自走化させていくことに繋がるはずである。

## 10. 知見・教訓

本事業を通して、参加者全体の満足度は著しく高く、この地域でのワーケーション体験を他の人にオススメしたいというご意見を多くいただいている。また実際に本事業の参加者の中には、既にお客さんや家族を連れて再び来訪した方や、2023年4月以降の来訪を見越して宿泊施設の予約、郷土料理体験の予約を済ませている方もいる状況である。アンケート結果等からも読み取ることができるよう、参加者は口を揃えて、人吉球磨地域は住んでいる「人」が素晴らしく、また会いに来たいと思うという感想が多くあった。歴史や文化、自然などは全国どの地域に行っても体験できる。ワーケーション参加者は、そこにあまり気持ちの重点を置いてないと感じた。リピートして、もう一度人吉球磨を訪れたいと思えるかどうかは、人吉球磨地域に住む「人」に触れ合える機会が創出できるかど

うかが鍵になる。その為には、コワーキングスペースなどのテレワークができる拠点には、ただの受付というような機能ではなく、地元のことを良く知る、人と人、地域どうしを繋ぐ銚（かすがい）の役割を持つハブの存在、コミュニティマネージャーの立ち位置が重要になってくると考えます。

また、コワーキングスペースは熊本県内でも 50 箇所以上、ワーケーションの誘致をおこなっている自治体も全国で数百箇所が手を挙げている状況の中、「なんで、人吉球磨地域でワーケーションをやる必要があるのか？」と問われて、「人吉球磨地域でなければできない体験や経験」をどう作るかが鍵になってくる。

観光メインの来訪となると、1 度訪問した地域ではなく、次から次へと他の地域の魅力を求めて回遊することが多いと考える。しかし、ワーケーションでの来訪の場合、土台となる軸には、安心して働くことのできる環境+ $\alpha$ （観光、人、温泉など）を求めて地域を選ぶことになるため、地域内での WORK スペースの選択肢の充実と満足度の高いサービスが必要になってくる。しかしながら、施設のみならず、観光、歴史、文化、温泉、飲食、宿泊などそれぞれの地域の強みを生かしてワーケーション受け入れをする必要があり、長期滞在型のワーケーションを今後さらに受け入れを加速していくためには、人吉市のみならず近隣の市町村など広域での連携の必要性も今回の事業を通して感じるようになった。

ワーケーションで既に有名になった地域などをいくつか調べると、旅館の客室に会社で使うような事務机を置いてインターネットを接続、リモートで会社の仕事をして、疲れたら（飽きたら）温泉に入り放題。こういう働き方の事例です。観光業界には嬉しいでしょう。実際、観光業界がワーケーションに最も熱心です。しかし、このような働き方は、単に会社の仕事を観光地でおこなっているだけであり、温泉旅館の外に出ることがあまり考えられていないケースが多くあります。また、会社のお金で社員に旅をさせ、働いているのか観光をしているのか曖昧な環境に身を置かせる意義、何のためにその地域に行く必要があるのか、ワーケーションが普及しきれていない理由がそこにあると考えます。会社にとってもその地域に行くことで、何を期待しているのか、人吉球磨地域でのワーケーションを通して社員一人一人や会社のチームがどういう状態になることができるならば、行かせようとするのか。誘客したい対象が法人か個人かによっても大きく異なってきます。人吉球磨地域でのデモツアーを通して、さまざまな体験コンテンツが既に存在していることが理解できた。人吉球磨地域にワーケーションで来訪した企業がフィールドワークを通して、社員一人一人やチームとしての成長につながる。人間らしく生きる、人間らしく働くことは「考えること」「他者と繋がること」です。そのためには、その舞台を参加者に提供することを宣言し「人吉球磨で考えよう」「人吉球磨でつながろう」「うん良かったよの先を体感できる人吉球磨ワーケーション」を標語（テーマ）としても良いのではないかと感じた。

### 「人吉球磨で考えよう」

人吉球磨が抱えている課題を素直に提示し、その解決策を求める。地域に出て、地域を観察して、人々と話して、課題とも向き合う。全国からいろんな知恵が集まる。課題解決実施のためのワーケーション滞在で誘致。継続的なつながりが期待されます。

### 「人吉球磨でつながろう」

市町村民、全員が主役。滞在期間中で何人の町民と友人になることができるか。友人を作る能力は、人間の能力の中でも大事な能力の一つ。知識ではなく「やさしさ」「気配り」「誠実さ」が問われる。そういう能力のある町民はたくさんいるはず。1週間ほど来て仕事して、少しばかりのお金を落としてくれる…それっきりなんて、本当に寂しいことです。ワーケーション滞在期間中に人吉球磨の誰かともう一度会いに来訪したいと思える関係性を構築する。地域内の人とワーケーション来訪者を”つなぐ”役割が非常に重要になります。

### 「うん良かったよの先を体感できる人吉球磨ワーケーション」

既存コンテンツの磨き上げをおこなう。非日常の体験、観光客向けの体験は既に存在しているが、そのような体験は全国各地に存在しており。そのままでは「うん良かった」で終わりとなってしまふ。既存コンテンツを提供している民間事業者に対してワーケーションの認知を高め、ワーケーション利用者が人吉球磨に訪問することでまちにどのような変化をもたらすのかなど時間をかけて説明する。ワーケーションに訪問する企業がそれぞれの体験からどのようなことを社員に学ばせたいのか、チームの結束力を高めるヒントを得ることができるかなど、観光客向けとは違った法人向けのアプローチと一緒に考え既存のコンテンツの磨き上げを行っていくことが大切である。

本事業を通して、さまざまな行政関係者、民間事業者との地域内連携やワーケーションを人吉球磨に受け入れることの理解を深めることができた。今後、更にワーケーションを推進していくためには、地域内でのワーケーション受け入れの情報を発信し営業をかけていく必要がある。弊社の独自の取り組みとして、本事業での実証的なコンテンツや、参加者のアンケート内容なども反映させながら、くまりばを拠点とした「人吉球磨でのワーケーション」を感じることでできる動画や、ホームページの更新を行なっている。引き続き、人吉市でのワーケーション受け入れを通して将来的なビジネスの創出や交流、関係人口の創出、人吉市への移住の促進のために情報発信を続けていく。



人吉球磨地域でのワーケーションを感じるホームページ

## 11. 資料（別添）



人吉市まち・ひと・しごと総合交流館くまりばでのワークショップ受け入れの様子。1on1 エヴァンジェリストである元Yahoo 人事の堀井耕策氏より教育いただいたチームビルディング研修をワークショップ参加者に対して実際に行なっている様子。受け入れにあたり、新たな弊社独自のコンテンツとしてうまく活用できている。



ワークショップ受け入れにあたり、地域内での体験コンテンツとして老舗お茶屋である立山商店での日本茶体験の様子。観光客向けのコンテンツはこれまでもあった

が、ワーケーション参加者の「お仕事にプラスになる」体験となるにはどうすれば良いか地域内事業者と連携して新たな体験コンテンツをいくつか作り上げることができた。



休眠預金を活用して、照明設備などを準備することができたため、ワーケーション受け入れにおける外での体験コンテンツや食事提供なども可能に。受け入れの幅が広がることで、利用者の満足度を高めることができた。



熊本県人吉球磨地域におけるワーケーションの様子を広報的に知っていただくためのホームページを運用スタート。利用プランやサービス内容について詳細に掲載することができ、ホームページを見て全国から予約などの問い合わせが増加してきている。今後も情報をアップしていく。

<https://hitoyoshikuma-workcation.com/>



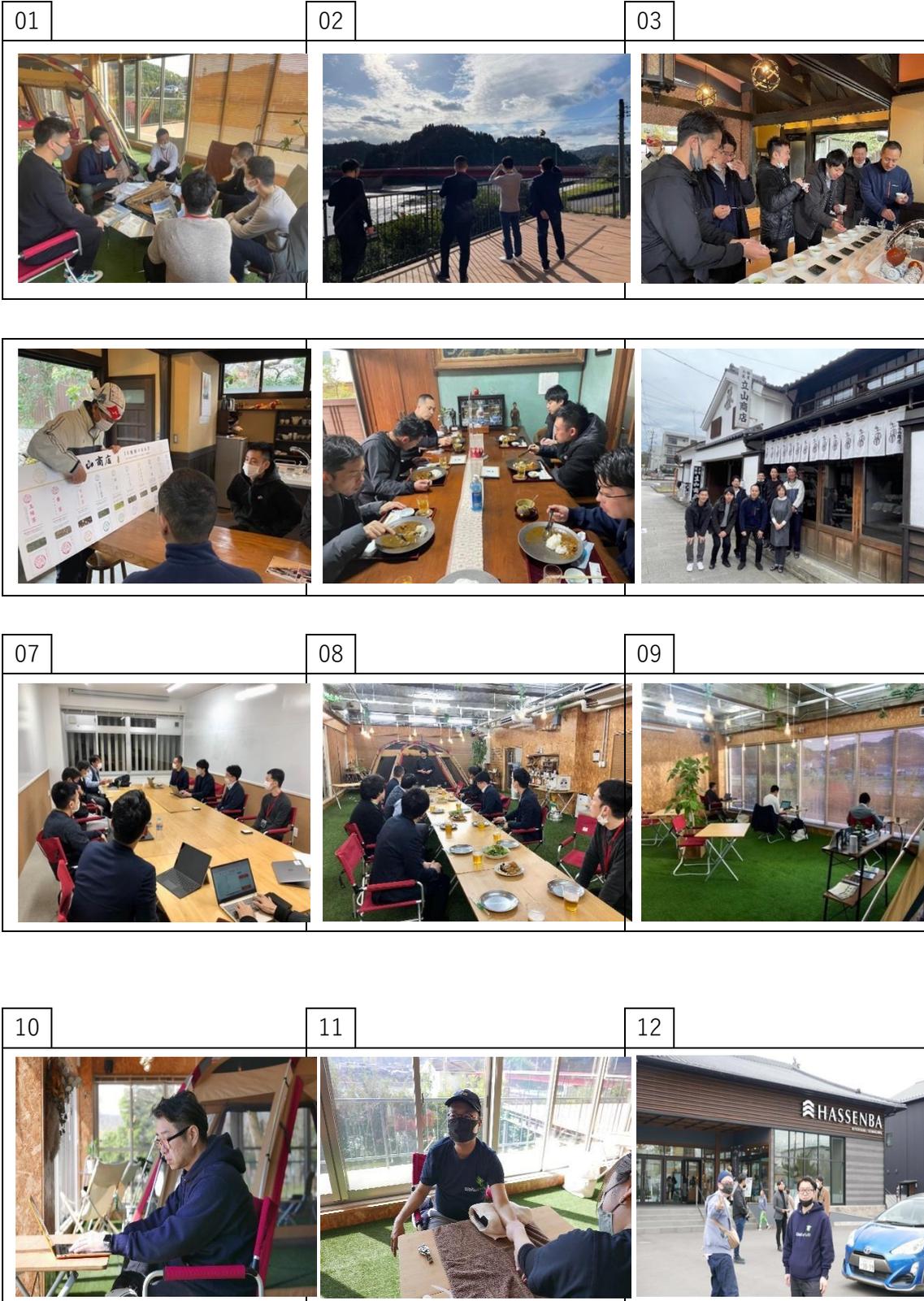
地方移住・関係人口創出のプラットフォームであるネイティブメディアにもドットリバーのページを作成し、熊本県人吉市の coworking space 情報やワーケーション情報、関係人口創出の取り組みについて広報的に活用することができた。

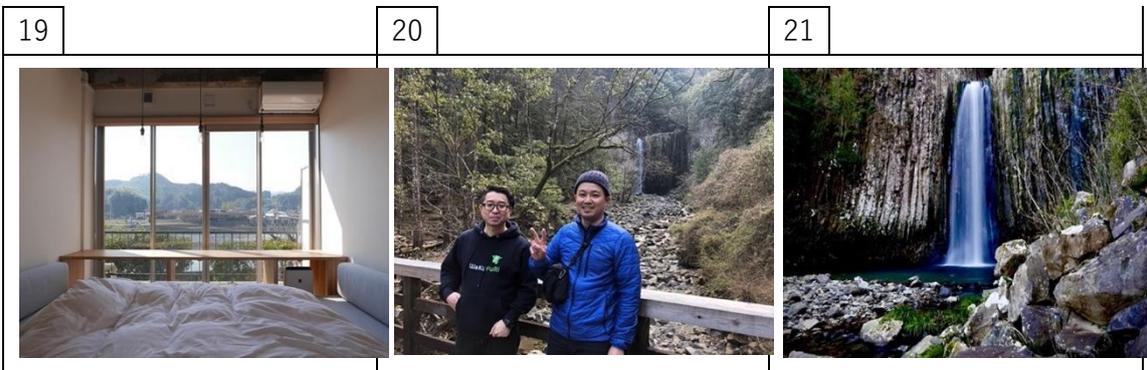
<https://nativ.media/?s=%E3%83%89%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%AA%E3%83%90%E3%83%BC>

## ▼事業実施期間のワーケーション受け入れ一覧

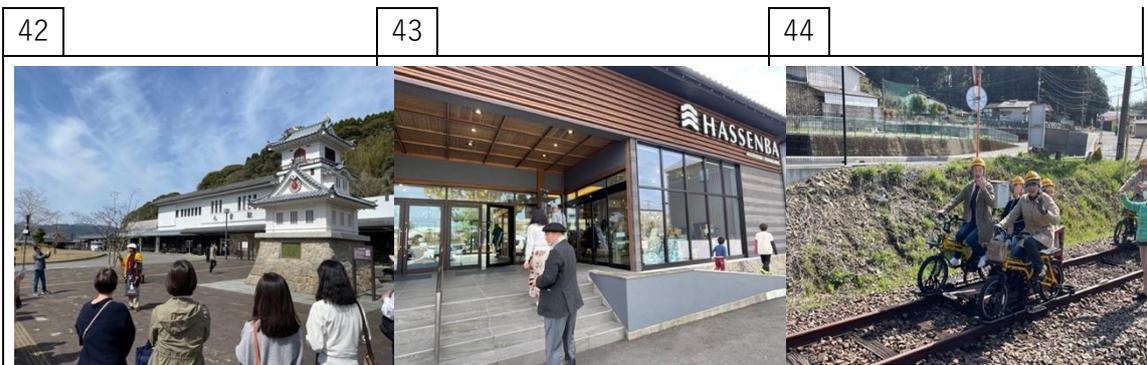
受入れ期間	滞在日数	企業名	会社数	人数
2021/5/14-5/16	2泊3日	株式会社レッジ	1	6
2021/10/22-10/29	6泊7日	川崎重工株式会社	1	3
2021/11/12-11/18	6泊7日	STUDIO DIVE 大山正也	1	1
2021/11/11-11/17	6泊7日	ルートプラス打田	1	1
2021/11/12-11/18	6泊7日	熱中小学校関係	1	2
2021/11/23-11/24	1泊2日	RCF（若田）	1	1
2021/11/23-11/28	4泊5日	RCF（橋高）	1	1
2021/11/30-12/1	1泊2日	株式会社レッジ	1	5
2021/12/3-12/4	1泊2日	堀井（観光庁アドバイザー）	1	1
2021/12/10-2021/12/13	3泊4日	ヒューマンテクノシステム	1	4
2022/1/15-2022/1/21	6泊7日	デロイトトーマツ	1	1
2022/1/15-2022/1/21	6泊7日	九州博報堂	1	1
2022/1/18-2022/1/21	3泊4日	ヒューマンテクノシステム	1	4
2022/2/19-2022/2/21	2泊3日	STUDIO DIVE 大山	1	1
2022/3/10-2022/3/13	3泊4日	株式会社WIX	1	4
2022/3/14-2022/3/15	1泊2日	モンブラン	1	2
2022/3/17-2022/3/20	3泊4日	リコー株式会社	1	4
2022/3/17-2022/3/19	2泊3日	ブラッシュメーカー株式会社	1	1
2022/6/23-2022/6/24	1泊2日	ウェイビーブラッシュメーカー長田則本レッジ	5	5
2022/9/2-2022/9/2	0泊1日	フィリップモリスジャパン合同会社	1	6
2022/10/25-2022/10/31	6泊7日	ルートプラス打田	1	1
2022/11/3-2022/11/5	2泊3日	デロイトトーマツ久留島/藤本	1	2
2022/11/3-2022/11/5	2泊3日	博報堂澤田	1	1
2022/12/1-2022/12/3	2泊3日	ウェイビー	1	2
2022/12/1-2022/12/3	2泊3日	Dooox	1	4
2022/12/8-2022/12/9	1泊2日	JR九州	1	10
2022/12/16-2022/12/18	2泊3日	あさぎりワーケーション1回目	3	3
2023/1/30-2023/2/1	2泊3日	あさぎりワーケーション2回目	1	7
2023/2/1-2023/2/3	2泊3日	あさぎりワーケーション3回目	1	3
2023/2/3-2023/2/5	2泊3日	あさぎりワーケーション4回目	3	3
2023/2/6-2023/2/9	3泊4日	熊本DMC	3	9
2023/2/24-2023/2/26	3泊4日	千葉県銚子市	2	2
2023/3/4-2023/3/6	2泊3日	ワクフリ	1	3
2023/3/17-2023/3/19	2泊3日	熱中ワーケーション	8	9

本事業を通じたワーケーション滞在の様子









## 写真のキャプション一覧

番号	撮影場所	撮影日
1	人吉市 osoto Hitoyoshi	12月1日(木)
2	人吉市 osoto Hitoyoshi	12月1日(木)
3	人吉市 立山商店	12月3日(土)
4	人吉市 立山商店	12月3日(土)
5	人吉市 osoto Hitoyoshi	12月3日(土)
6	人吉市 立山商店	12月3日(土)
7	人吉市 くまりば	12月2日(金)
8	人吉市 osoto Hitoyoshi	12月2日(金)
9	人吉市 osoto Hitoyoshi	12月2日(金)
10	人吉市 osoto Hitoyoshi	3月4日(土)
11	人吉市 osoto Hitoyoshi	3月5日(日)
12	人吉市 HASSENBA	3月4日(土)
13	人吉市 HASSENBA	3月4日(土)
14	人吉市 HASSENBA	3月4日(土)
15	人吉市 上村うなぎ	3月4日(土)
16	人吉市 球磨川鉄道	3月5日(日)
17	人吉市 球磨川鉄道	3月5日(日)
18	人吉市 青井阿蘇神社	3月4日(土)
19	人吉市 くまりば	3月5日(土)
20	人吉市 鹿目の滝	3月5日(土)
21	人吉市 鹿目の滝	3月5日(土)
22	人吉市 芳野旅館	3月4日(金)
23	人吉市 白岳伝承蔵	3月5日(日)
24	人吉市 丸一蕎麦屋	3月5日(日)
25	人吉市 白岳伝承蔵	3月5日(日)
26	人吉市 白岳伝承蔵	3月5日(日)
27	人吉市 くまりば	3月5日(日)
28	人吉市 くまりば	3月5日(日)
29	人吉市 くまりば	3月5日(日)
30	人吉市 osoto Hitoyoshi	3月18日(土)

31	人吉市 くまりば	3月18日(土)
32	人吉市 大橋	3月18日(土)
33	人吉市 串カツエビス	3月18日(土)
34	人吉市 町屋ギャラリー立山	3月19日(日)
35	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
36	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
37	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
38	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
39	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
40	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
41	人吉市 青井阿蘇神社	3月19日(日)
42	人吉市 人吉駅 からくり時計	3月19日(日)
43	人吉市 HASSENBA	3月19日(日)
44	人吉市 球磨川鉄道	3月19日(日)
45	人吉市 球磨川鉄道	3月19日(日)

## 参加者アンケート

アンケート結果 参加者29名

### 人吉球磨でのワーケーション、全体の満足度を教えてください。

(満足) 5 (17名) 4 (10名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名) (不満)

### 人吉球磨でのワーケーションを、他の人にオススメしたいと思いますか？

(オススメしたい) 5(19名) 4(9名) 3(1名) 2(0名) 1(0名) (オススメできない)

### 本事業のワーケーションを通して、快適に過ごせたと思うことがあれば教えてください。

ケータリングのお食事がとても美味しく、感動しました。

- ・部屋も広く、寝具がとても快適で熟睡できました。

- ・コーヒーがドリップ式になっていたのでおいしかったです。セルフなのも、滞在時間が長くなり、他の人と話すきっかけになりました。

- ・ワーケーションスペースの整備

- ・スタッフの方のホスピタリティ

- ・クマリバのシェアオフィスの環境は快適でした。また、併設のホステルも非常に使いやすかったと思います。必要十分かつ清潔な印象でした。

- ・訪問前からくまりばの方々から親切丁寧にサポートしていただき、施設もテレワークの

ワーカーが仕事しやすいような配慮が至るところでされておりワーケーション中も始終気持ちよく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

・周辺環境が大変静かで、落ち着いたこと、温泉が近くにありゆっくり出来たこと、スタッフの方のホスピタリティが高く親切だったこと

—事務局の方々の細かい説明や、アテンド、地元の人と繋いでくれるのが丁寧で、本当にずっと快適に過ごすことができました。

—そもそもあさぎりの方々が良い人ばかりだったので、素敵な時間を過ごせました。

—気候・食・文化・アクティビティ・宿、すべてにおいて気持ちよく体験することができました。

—我々のスケジュールの問題もあり、現地のアクティビティを多く参加することができませんでしたが、あさぎり町役場の方々とのディスカッションが特に有意義で、宿泊先も含め、概ね快適に過ごすことができました。

—ただの滞在ではなく、行政をはじめ地域住民との交流機会があったことが嬉しかった。

—祭りやイベントなどを通じて地域の行事に触れられたこと。

—古民家宿泊で囲炉裏や餅つきなど普段体験できないことをできたこと。

—ドットリバーの担当者の対応が親切ですばらしかった。快適に過ごせました。

—対応してくれた職員が親切で、とても気持ちがよかった。

—いつも慌ただしく時間が過ぎていくので、いつもとは違う環境で時間を気にせず語り合うことができたこと。

—料理体験で協力しながら準備、食事ができたこと。

—新たな人との出会いを通じて、心が豊かになれた気がします。

—暖房や布団も暖かくして冬でも夜は快適に過ごせました。

—食事含め、あさぎりの地の物と接することができた点。

—リュウキンカの郷を拠点とした（広々としていて、開放感があり非常によかった）ことが良かった。

—環境：素の自分に戻れる空間。

—つながり：食・住を通じて人と人がつながることの実感と自身の関わりを実感できたこと。

—あさぎり町の事をさらに知ることができました。

—リュウキンカの郷の設備：土間の中でワーク・リラックスできる環境。

**今回のワーケーションを通して、改善した方が良くと思われることがあれば教えてください。**

・デスクに直接コンセントがついていれば、なお便利かと思いました。（床の近くにコンセントがあり、デスク上まで引っ張るのが面倒でした。）

・外で焚火したかった。休憩のタイミングにほかの人も参加できたかも

- ・ドアの開閉に毎回カードが必要なところ（出るときは無い方がよさそう）
- ・調理室がもっと活用できればと思いました
- ・施設併設のキッチンがとても素敵でしたが利用料 1 時間 3,000 円では利用しづらいと感じました。チームビルディングにも活かせるためキッチンが利用しやすい価格設定だと嬉しいです。
- ・アクティビティの運動強度の目安がわかるといいなと思いました、怪我などの防止につながると思います。アクティビティを通じて期待できるチームビルディングの効果

一人吉球磨の市町村と連携が出来たらもっと楽しいものになると思った。

一特にありません。楽しく参加させていただきました。

一これから工事に入るワーケーション施設が完成すれば、町でのリモートワークも問題なくできると感じますが、中期でワーケーションに来られた方に、あさぎり町特有のアクティビティ（農業体験、グランピング、登山、溪流関係などなど）が提案できるとよりいいのかなと思います。

一仕事をするための環境整備（Wi-Fi 環境、電源、ワークスペースなど）がもっと必要。

一もっと地域住民を宿泊所（古民家）に招いて混ざり合う感じがあってもいいと思った。

一夜は居酒屋に勝手に行くより地域の人と手作り料理で飲みながら色々交流できる機会が欲しい。

一食事の量が多く残してしまう事があり、要望等を取り入れ調整出来るといいと思いました。（サービス、お心づかいには感謝です）

一リュウキンカの郷の Wi-Fi は少し速度が遅かったように感じました。

一シングルで泊まれる部屋があった方がいい。

一リュウキンカの郷内の Wi-Fi 速度：複数人同時接続時に極端に低速となりリモート会議ができない。

### 本事業のワーケーションを通して、1 番印象が強かったことは何ですか？

- ・スタッフの方のホスピタリが高かったこと。
- ・ワールドカップ観戦
- ・懇親会（料理がすごくおいしかった）
- ・温泉が流れているところ
- ・ウンスンカルタで地元の方と交流できたことが一番印象に残りました。どの施設でも人の良さを感じたのが今回のワーケーションでした。観光資源だと思います。
- ・今回のワーケーション中に様々な方とお話しましたが皆さんホスピタリティが高く本当に良い方ばかりでした。アクティビティも楽しく過ごしやすく人も良い、最高の環境でした。
- ・なんでもそうですが、触れ合う人がみなさんいい人だなというのが一番の印象でした。
- 一自分の中の感覚の話ですが、我々スノーピークグループは「人間性の回復」をミッション

ンとして掲げています。では「人間性の回復」とは具体的になんなのか・・・？これは今でも日々自問自答しています。そんな中「あー幸せ」「心地いい」というシンプルなこの感覚・感情こそ、「人間性の回復」ができていないのではないかと思ったりもします。ありきたりかもしれませんが、自分の中ではそのよう感覚はあまりなく、本当に貴重に感じています。

一人吉市の球磨川から始まり、広大な自然、おいしいごはん、命のありがたみ、人のあったかさを体験して、「あー幸せ」「心地いい」という感覚・感情になれたことが自分にとって印象強かったです。長ったらしくて、まとまっていなくて申し訳ありませんが、それだけ素敵で貴重な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

一馬場のてっちゃん家での宿泊は、良い出会いをいただけたと感じています。

一町役場の方々とのディスカッションは、大変有意義で、かつ、思いのある方ばかりで、例えば、新しい施策検討をあさぎり町でのワーケーションの目玉にするのもありなのかなと感じたほどです。（町民参加型のイベントなど）

一地域スナックでの交流と餅つき体験

一会う人会う人、親切であったこと、そして、身長を越える水嵩の洪水に見舞われた後なのに、皆さん、明るく気丈にされていたことが印象に残っています。球磨川とともに生きてきた遺伝子か、相良藩七百年の伝統か。ステキなことだと思いました。

一行く先々の人が丁寧、親切で気持ちよかった。

一お酒を飲みながら本田節さんのお話が聞けたこと。

一今後の自分の人生を考える中で参考になる部分がありました。

一人が素晴らしい！

一地元の皆さまとの交流。

一骨かじり、食事をみんなで作って食べること。

一郷土料理体験、夕食会を通じた参加者全員のコミュニケーション。

一夕食会。準備も楽しかった。つながりを強く実感でき、人の想いを聞き、自身も素で話すことが出来た気がします。

一地域の耕作者やスタッフの皆さまとの交流。

## 人吉球磨に再びワーケーションで訪れたいと思いますか？

一思います。必ず行きます。

一はい。また来ます！

一機会があれば訪れたいと思います。ワーケーション施設のオープンやあさぎり町固有のアクティビティをさらに楽しみにしています。車ありきの動線も、改善の余地があるかもしれません。

一是非訪れたいと思うが地域住民と交流できる機会がある前提で行きたい

一自部署のメンバーと体験できたら面白いと考えていました。世代もバラバラでありコミュニケーションが深くなる楽しみがありますが、考え方も違うのでまず今回の体験を話してみたいと思いました。

—Yes!

—はい

—もっと広げていきたいです。また戻ってきます!

—次回は、家族とともに訪れ、“食”や“命”について学びを深めたいと思います。

**WORK 環境について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

—実際にワーケーションで行くとなると、Wi-Fi や什器の充実も必須なのかなと思います。そもそも町の人意識がないと、そこに投資することもできないので難しい問題ですね・・・

—新しいワーケーション施設の場所を見学させていただきましたが、突き当りの大きな部屋とその先のバルコニー（予定?）がワーケーション施設の目玉となるような設計だと、ワーケーションに来たなという非日常感も感じることができ、いいのかなと思います。Wi-Fi やコピー機、コーヒーセットなどは必要かと思います。仕事をするための環境整備（Wi-Fi 環境、電源、ワークスペースなど）

—各施設に電源の確保（PC 等）が準備できているとありがたいと思います。

—WORK 環境は良好でした。複数で PC を使用するため電源の数がもう少し多いと良かったと思います。

—Wi-Fi 環境、PC 等に利用する電源コードなどが設置してあると良かった。

—会議空間として十分な環境でした。駅近なので熊本近郊からアクセスのいい会社とかあるのかなと思いました。

—リュウキンカからせきれい館は、極近なので使いやすかったです。アクティビティも組みやすい場所です。

—せきれい館、ぽっぽ一館、共に電源環境が充実すればよいと思います。

**宿泊施設（肥前屋）について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

—外に出かけさせてフィールドワークをさせるには良い宿かもしれませんが、寝るためだけの場所という感じでした。現金しか受け付けないというのも、これからの観光を考えるとちょっとどうなのかなと思いました。

—田舎なので仕方ないのかな。それなりの快感がある施設が望ましい。

**宿泊施設（リュウキンカの郷）について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

—リラックスできる雰囲気でした。薪ストーブの火をみていると和みました。

—最高の施設、何より人、心が素晴らしく感動を頂きました。感謝。

—囲炉裏や暖炉もあり、素敵にリノベーションできている施設で快適に過ごせました。

—大変心地よく宿泊できました。ありがとうございました。

- ― 一気持ちよく過ごせた。
- ― 最高でした。
- ― とても素敵な施設で“つながり”を実感できました。

**宿泊施設（馬場のでっちゃん家）について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

- ― 宿、ごはん、歴史、人となり、なにをとっても最高の一言。もっといろんな人に知ってほしい。友達にも紹介します。
- ― 「人（でっちゃん）に会いに行く」といった、目的となる場所でした。人・食という点であさぎり町ならではの体験をさせていただきました。また必ずいきたい場所です。
- ― 温泉、朝食含め素晴らしかったです。同室で構わないメンバー構成であれば問題ないかと思いますが、今回の我々のような構成だと、一人が大きな部屋など、部屋数が少し少ないような気がしました。同室であれば、十分だと思います。
- ― Wi-Fi 環境と電源が必要、あとワークしやすいスペースが欲しい（机など）。

**体験コンテンツ（高田酒造蔵見学）について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

- ― 歴史のある「米焼酎」について知ることができ、試飲もできてよかった。実際の工程と見ることができるとさらに面白いかもしれない。
- ― 見学のあと、試飲もさせていただけてお土産までついてくる、非常に満足度の高いコンテンツでした。
- ― ワークーションに求めるものは非日常感だと思いますので、開けた窓から自然が見えるような開放感のある設計が大変重要だと思います。ヘルシーランド自体も大変大きなアセットだとは思いますが、現状、地元の方が多く利用されているかだと思いますので、うまく協調しながら地元の方にも受け入れられる施設を目指すことが肝要かと思います。
- ― 地域の祭りやイベントなどその地域や歴史、住んでいる人々を肌で感じられる機会は良いと思う。
- ― 焼酎蔵見学もよかったです。何故、球磨焼酎は米なのか、についてもっと知りたかったです。地元では当たり前なのでしょうけれど。

**体験コンテンツ（キャンプ場での体験）について、ご感想ございましたらご記入ください。**

- ― 可能性の高いキャンプ場だと感じたので、ワークショップで出た意見を参考にさせていただき、より多くの人を訪れる場所になることを願っています。そのためには行政に頼るのではなく、いかに民間企業がパブリックマインドをもって連携していくことが必要不可欠だと思います。
- ― サウナやマッサージなど、キャンプ体験の中でも選べるコンテンツが用意されており、

各々好きなように楽しめる時間があり良かったです。食事も美味しかったです。ありがとうございました。

- 具体的な取り組みを多く、お聞きすることができ、大変勉強となり、今回のワーケーションの中でも大変素晴らしい機会となりました。ありがとうございます。
- 食など尖った産業育成環境（他の地域の拠点と比べて何が違うのかという点）
- 地域の企業や住民との圧倒的な交流機会や連携機会。
- 実証フィールドやチャレンジショップなどの実証環境。

**体験コンテンツ（日本遺産の構成文化財をめぐるツアー）について、ご感想ございましたらご記入ください。**

- 歴史的なもの、神社等の知識がないので説明していただきわかりやすかったです。
- 地元の歴史を学ぶことができました。
- ちょうどいい時間配分であったと思います。
- ガイドさんがちゃんとした神社の方だったので色々と勉強になった。
- 熊本在住歴もあり、球磨にも来ていますが説明聞きながらのツアーということもあり色々な発見がありました。
- ツアー自体はもとより、地域地域に各々の歴史が存在することに気づかされました。

**体験コンテンツ（郷土料理体験）について、ご感想ございましたらご記入ください。**

- 楽しく取り組ませていただきました。
- 今まで食べたことがない料理をいただき、味だけでなく知識も得ることが出来ました。
- 皆さんとワイワイやれて楽しかったです。
- 地元の郷土料理、骨かじりを今回初めて知りましたし、美味しくいただきました。
- 大変楽しく体験できました。
- メンバーと一体感を得ることができた。
- 一体感を感じるいい経験でした。
- 自らが役割を持って参加することによって食材や生産者・調理者への感謝を思い起こさせるものでした。

**人吉球磨地域がこれからワーケーション拠点地域として利用促進していくには、何が必要だと思われますか？**

- 行政に頼るのでなく、いかに民間企業がパブリックマインドをもって連携していくことコンテンツのブラッシュアップ、認知拡大、球磨地域内での点と点の連携等。
- 仕事をする環境が整っているということをしっかりと各所で発信していくこと。地元事業者さんとの連携強化に注力していくことで利用者も増えてくると思います。
- 地域の一体感含め、地域の魅力（農業など自然を生かしたアクティビティなど）を通し

た非日常感をいかに体験型オプションとして盛り込めるかだと思います。また、個人的に、ふるさと納税の活用もありかなと思います。

—観光資源のPRが弱いと思いました。（観光mapに掲載している数も少ない）外部から見ると魅力的な資源(食、歴史、スポット、名物な人)がたくさんある気がしていますので食欲にもっとPRしていったらいいと思います。

—コンテンツはいろいろあると思いますので知ってもらう（情報発信）をどんどんしていただければと思います。

人財発掘ではないでしょうか。素晴らしき人がたくさんいらっしゃいます。人財の価値をもっと表し、アピールしてはどうでしょうか。

—ワーケーション活動の魅力的な情報発信と体験コンテンツオプションの更なる充実。

—シングルUSEというか泊のみシングル対応が出来た方が男女とも利用しやすくなる。

—さらなるPR。

—球磨の他市町村と連携したプログラムにすればさらに魅力がUPする気がします。

—単なるワーケーションではなく、体験型コンテンツによって食や地域というものを自分に近い存在として考える経験ができることを推したらよいのではないかと考えます。（地方×都会という対立構造概念などの打破）

### **ワーケーション期間中の熱中小学校の連携について、ご意見ございましたらご記入ください。**

—熱中小学校は初めての経験でとても興味深かったです。参加された人たちが熱心なのが印象に残りました。私も勉強になりました。講師をしてみたいなと思いました。近隣の市町村との連携はいいと思います。

—あさぎり町から参加している生徒との交流もでき、とても勉強になりました。

—ワーケーションにきて、こんな学びができるとは思っていなかったのも、とても良かった。

### **その他、ご意見等ございましたらご自由にご記入ください。（温泉や飲食店など）**

・このたびは短い期間でしたが、大変お世話になりありがとうございました。ワールドカップと一緒に観戦し、応援できる環境を整備していただき感動しました！

・アウトドア好きには刺さるワーケーションだと思いました。地元のその界限の方と交流できれば楽しそうだと思います。

・三日間ほんとうにありがとうございました！！人吉が好き！というよりドットリバーさんの皆さんや住んでいる方を通して好きになりました。またぜひ遊びに行かせてください。

・今後も色々とお世話になると思います。引き続きよろしく願いいたします。

—まず、なにからなにまで本当にありがとうございました。2泊3日でも足りないくらい素晴らしい場所、人が多くて充実した時間を過ごすことができました。仕事としては勿論、

個人としても引き続き皆さんと繋がって、楽しいことをしていきたいと思いますので、何卒宜しくお願い致します。楽しかったです！！！！ありがとうございます！

—初めてのあさぎり町でしたが本当に心から楽しませていただきました。あさぎり町ならではの体験や、地元の方々との交流時間もあり、きっと個人でいくよりもこのようなツアーに参加させていただいたからこそ知れた朝霧の魅力、というものが沢山あったと思います。だからこそまたプライベートで必ず遊びに行きたい町となりました。この度は参加させていただきありがとうございました。

—おそらく、これからだと思いますが、あさぎり町のおすすめマップやここに直接行ってみようと思ってもらえるような仕組みがあるといいかなと思いました。そういう意味だと登山もできるというのはなかなかあるようでない切り口かなと思います。（サイクリングや海とかはよく聞きますが。）最後になりますが、3日間、大変貴重な機会を与えていただきありがとうございました。今後とも、このご縁が続きますことを祈っております。

—あさぎり町らしさを大切にしたいです。ワーケーションのワーク、訪れる人の体験の質を充実させて欲しいと思います。

—これから作っていくワーク施設の運営も含めてあさぎり町ならではの個性がないと閑古鳥が鳴くでしょう。ブームに乗るのではなく、主体性を持って取り組めば、新しい景色が広がるでしょう。

—大変お世話になりました。いままでのこのような体験は聞いたことはあっても初めて来ることができ、気づきや楽しさを感じることが出来ました。

—感謝しかありません。

—3日間大変お世話になりました。ありがとうございました。

—2泊3日大変楽しく過ごせました。ありがとうございました。

—皆さん気さくな方で本当に気持ちよく過ごせました。ありがとうございました。

—全部最高でした。スタッフの皆さまの各場面での配慮も感じました。ありがとうございました。

—今回の体験によって人と人との持続的つながりを形成するヒントのようなものを与えていただいた気がしています。機会を捉えこの四季を感じてみたいと思います。これからも頑張ってください。応援しています！

**▼WORK 環境について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

- ・業務によってはディスプレイが必要なので、貸出用のものがあるとありがたい。
- ・2階の畳部屋が最高でした！
- ・ドア外の MTG ブースはシェアオフィスの施設内なのかわからずでした。
- ・Wi-Fi も快適でしたし設備も整っており素敵でした。特にコーヒーの飲み方が特別感もありお気に入りでした。
- ・最高でした！

**▼宿泊施設について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。**

- ・終日廊下の電気が明るくついていて、部屋まで明かりが入ってきていたので、夜はもう少し照明を落しても良いのではないかと感じました。
- ・髭剃り等のアメニティを受付には準備してほしい。（有料でも可）
- ・快適でした！特に布団が！
- ・施設がきれいで良かったです。くまればはまた使いたいです。
- ・くまれば：最高すぎてなにも言うことはありません。プライベートでも使いたくなりました。
- ・芳野旅館：女将さんはじめ皆さんの心配りが最高でした。高級旅館路線でもいいかと思えます。
- ・必要最低限のものは揃っていて、特に不満はありませんでした。強いて言うなら、数人で集まった時に使える食器などあるといいなと思いました。

▼行政関係者との意見交換について、ご意見・ご感想ございましたらご記入ください。

- ・商工会様などとお話できる機会があればと思っております。
- ・地域の課題が知れたこと、僕らの事業コンテンツがどう役立てそうかイメージができました。人と事業を育てる環境作りを共にできたらなと思います。
- ・地方都市ならではのお困りごとがあることはよく分かりましたし、私たちが支援できることはなんでも協力させていただきたいと思いました。今後も地域を元気にするという面で連携できると良いなと思います。

人吉球磨地域内各施設の利用状況及びワーケーション誘致に向けた改善提案

コンテンツ	白岳伝承蔵	
住所	熊本県人吉市合ノ原町 461-7	
		
白岳伝承蔵	焼酎の作り方を映像などでも学ぶことができる	試飲コーナーや物販コーナーも
<p>・白岳伝承蔵は、高橋酒造が運営している球磨焼酎の魅力と共に、その歴史的・文化的価値を全国の皆様にご紹介をすることを目的とした球磨焼酎ミュージアムとなっている。焼酎作りの想いから、人吉球磨エリアの歴史や文化を感じることでできる映像が10分ほど放映され、スタッフによる説明、試飲体験などお酒好きのワーケーション参加者にはたまらない時間を過ごすことができる。また、白岳伝承蔵には、地域内の他蔵元で作られている球磨焼酎も販売されている。ただの見学ではなく、体験コンテンツとしてワーケーション参加者には満足いただけるだろう。</p>		

コンテンツ	鹿目の滝	
住 所	熊本県人吉市中青井町 311	
		
		
	鹿目の滝	災害以降、修復された橋
<p>・日本の滝 100 選にも選ばれた落差 36m の雄滝と、落差 30m の雌滝、緩やかな流れの平滝からなる滝。轟音と共に、白い飛沫を上げて垂直に落ちる様は圧巻。都会からのワーケーション参加者には、圧倒的な大自然を感じていただけるためとても魅力的である。くまりばからの距離も近く、豪雨災害後に壊れていた橋も復旧されたということで今後のコンテンツとしても可能性大。ヨガ体験やコーヒーを淹れる体験などセットにしてここでしかできない体験を提供するのもより魅力度がアップするだろう。</p>		

コンテンツ	くまりばでのアウトドア体験	
住 所	熊本県人吉市相良町 4-2	
		
		
	設営体験のようす	社員同士のチームビルディングにも
		焚き火体験のようす
<p>・コワーキングスペースのコンセプトでもある自然体験を SnowPeak のギアを活用して、くまりば外スペースの芝生エリアにて体験することができる。アウトドア設営撤去体験をすることで、ワーケーション参加者の人間性の回復、参加者同士のチームビルディング、五感を刺激することができる。他の地域ではできない、都会でもできない、人吉ならではの体験を提供することが、もう一度ワーケーション地域として選ばれることに繋がるだろう。焚き火では、着火する体験から始める。火を前にして、より本音でよりチーム間の絆を深められる時間をコンテンツとして提供することができる。</p>		

施設名	あさぎり町商工コミュニティーセンター(ポッポ一館)		
住所	熊本県球磨郡あさぎり町免田東 1482 番地 2		
			
WORK			
Wi-Fi 環境	○	複合機	○
机・椅子等	○	オンライン会議用個室	×
モニター貸出	×		
利用者の声			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WORK する場所としての機能がもう少し充実していると良いと感じた。</li> <li>・ 2 階会議室にて仕切りを使うことで様々な人数に応じた会議やミーティングをすることができるが、HDMI ケーブルが無く、机・椅子が古くカタカタ揺れることもあったので、もっと快適に WORK ができる環境があると良いと感じた。</li> <li>・ また WORK するまで・する後のスキーム（支払など）も快適であるとさらに満足度が高まるのではないか。</li> </ul>			
施設改善についての提案			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あさぎり町の玄関口に位置する施設として町内のおすすめマップや「ここに直接行ってみよう」と思うような仕組みがあると良いと考える。</li> <li>・ WORK をする場という観点から、WORK する上では室温などの体感的な部分も重要であるが少し寒いという意見もあったためエアコンやヒーターなどの暖房設備の充実もあると良い。</li> <li>・ 受付から Wi-Fi のパスワードを教えていただくまでの流れなど、スムーズに利用できると、利用者がもっと使いやすくなる。</li> </ul>			

施設名	おかどめ幸福駅 物産館		
住所	熊本県球磨郡あさぎり町免田西 1423-2		
			
	デッキスペース でのお仕事の様	物 産	
Wi-Fi 環境	○	複合機	×
机・椅子等	○	オンライン会議用個室	×
モニター貸出	×		
利用者の声			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あさぎり町の野菜などの特産品が購入でき、飲食スペースもあることから地元の方・地域の拠り所になっていた。</li> <li>・デッキスペースでは田園風景やくま川鉄道を観ながら WORK ができ、非日常を体験できる。</li> <li>・お土産品も購入することができ、あさぎりワーケーションを体験する中での一つの拠点に十分なり得ると感じた。</li> <li>・ご飯がとても美味しく、感動しました。</li> </ul>			
施設改善についての提案			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の拠り所にもなっており、外から来た方が非日常を体験できる場所として利用しながら、あさぎり町の地元の方との交流のチャンスも生まれやすい施設として、コミュニティマネージャー的な役割を常駐スタッフに任せても良いかもしれない。</li> <li>・いろんな利用用途で訪問するお客さんがいるので、エリア的な棲み分けがあってもいいのではないかと考える。集中して仕事をしたい人向けのパーテーションなど。</li> <li>・施設場所の特性を勘案してアクティビティ（レンタサイクルなど）と結びつけたワークショッププログラムがあるといいと考える。</li> <li>・くま川鉄道の電動バイクの保険が切れており、乗車することが叶わなかった。</li> </ul>			

施設名	深田校区公民館 せきれい館		
住所	熊本県球磨郡あさぎり町深田西 955-1		
 			
			2階 へ
Wi-Fi 環境	○	複合機	△
机・椅子等	○	オンライン会議用個室	×
モニター貸出	×（プロジェクターはあり）		
利用者の声			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルから電源までの距離が離れていることもあり、延長コードが借りられたりすると良いと感じた。</li> <li>・リュウキンカの郷から徒歩 1 分程度の距離で到着することができるため、ワーケーションの拠点をリュウキンカの郷にしている場合は、宿泊施設とうまく連携が取れるので、とても便利である。</li> <li>・施設の利用予約をする際に、電話予約だけでなく現地にて前日までに申請書類を記載し、提出しなければならないため、そもそも現地にいなければ予約して利用不可か？</li> </ul>			
施設改善についての提案			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数で利用する会議室などが施設 2 階などに充実しているため、グループ利用には適していると考えられる。グループワークや研修などでの利用に向いている。こゝろワーケーションは個人で WORK する時間も想定されるため、簡易的な個室ブースやモニターの貸し出しなどのサービス充実も検討できる。</li> <li>・前日までに施設の受付窓口にて申請書を記入・提出しなければ利用ができなくなると、ワーケーションで完全に地域外からの利用客は利用が難しい。HP や予約サイトから事前予約・事前決済までできるサービスがあると便利。レゼルバや Air リザーブといったサービスの無料版でも十分対応できると考えられる。</li> <li>・ワークのための備品のレンタルが充実すると良い。</li> <li>・毎回、事務所に確認に行くのは手間になってしまうので、Wi-Fi パスワードがワークスペースに数カ所掲示してあっても良い。</li> </ul>			

施設名	あさぎり町ヘルシーランド薬師温泉		
住所	熊本県球磨郡あさぎり町上きた 1874		
 			
Wi-Fi 環境	○	複合機	○
机・椅子等	○	オンライン会議用個室	×
モニター貸出	×		
利用者の声			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルシーランドには、温泉も飲食店もあり、運動ができる什器もあるため、この施設内だけで WORK・運動・リラックスといったライフワークバランスに必要な要素が完結され得る点が良いと感じた。</li> <li>・新鮮野菜もあり地域の食とのコラボや、他地域拠点との差別化のための食に関する産業育成環境があると尚良いのでは。</li> <li>・町内に温泉施設はあまりないので、ゆっくりと時間を過ごすことができた。</li> <li>・サウナがあったので最高でした。</li> <li>・地元の方と交流することもできて、面白かったです。</li> </ul>			
施設改善についての提案			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい拠点施設が完成することで、Wi-Fi や電源設備などもでき、全国的にも珍しい温泉付きの WORK の場としての環境が充実されることで、さらに魅力的な施設に生まれ変わることが期待される。</li> <li>・誰を呼びたい、どの業種の方に利用してほしい施設なのかというジャンルを明確に示した方が集客できる可能性が高まるのではないか。</li> <li>・元々は保健センターであった背景や、地域の農産物が出店してあることなど、食や健康というテーマで戦略的に施設整備、誘客すると面白く広がりそう。</li> <li>・外の利用者に関係人口としてターゲットを定めることはもちろん、温泉や物産機能などあさぎり町民の皆さんが元々利用している施設でもある為、しっかり町内向けのイベントや利用促進を繋いでいく取り組みが必須である。</li> </ul>			